

IPS (Intentional Peer Support) に関する質的研究 —サービス利用者と援助者の新たな関係— へのご協力をお願い

1. この研究の概要

研究課題名

IPS (Intentional Peer Support) に関する質的研究 —サービス利用者と援助者の新たな関係—

研究機関名及び研究責任者

この研究の研究責任者は下記の通りで、調査のデザイン、調査実施、データの管理・分析、報告書・論文の作成を行います。

宮本有紀 東京大学大学院 医学系研究科 精神看護学分野 講師

研究目的

IPS を学ぶこと、関係性について考えることで、どんなことが起きるのだろうか、どのような変化が生じるのだろうか、その過程はどのようなものだろうか。それを知りたいと考え、IPS にご関心のある方達と一緒に考える「研究」を計画しました。IPS を学んで何か変化があったか、あったとしたらどのような変化か、今後どのように IPS を学び実践していくことができるのか、皆様と一緒に考え、学んだことを共有する機会をいただくことができれば有り難いと考えました。

この活動を通じて、人と人との関係性を考えることが大きな目標です。特に援助者—被援助者の関係と、対等な人間としての関係について考えたいと思っています。

研究方法

・2010年7月

5日間のIPS研修が実施され、その参加者にこの研究についてお知らせします。ご連絡をしても良い連絡先をお聞きます。

・2010年7月～ヒアリングやインタビュー、グループへの参加

この研究をどのような手順で進めていくか、どのような形(勉強会への参加やインタビューなど)なら知りたいことを知ることができるか、などについて、話し合ったりご意見をいただいたりします。また、IPSの勉強会の活動としてどのようなことをしていらっしゃるかについても情報を収集したいと考えています。

・2011年3月～2015年6月 インタビュー

研究への参加の同意が得られた方には、研究者が個別に連絡をとり、日程や場所を調整し、個別あるいはグループでインタビュー調査を実施します。インタビュー調査は、研究代表者である宮本が中心となり実施し、精神保健領域の臨床経験、学識を有する研究協力者がインタビューの補助を行います。インタビューの内容は、IPSの研修や勉強会に対する考えやIPSの概念に対する考え、利用者—援助者間の関係に関する考えなどを予定しています。なお、同時進行で行われる分析結果に基づいて、質問内容は適宜修正が加えられます。インタビューは許可を得て録音し、記録を作成します。

・2011年4月～2015年6月 分析

インタビューデータの分析は調査と同時並行で進められます。記録を吟味し、意味のまとまりごとに概念コードをつけ、類似した概念を集めてカテゴリーを作成します。同時にカテゴリー間の関係や対象者のおかれた状況などを比較検討し、IPSの概念や利用者—援助者間の関係について考察します。分析過程で必要性が認められた場合は適宜追加インタビューを行い、ある程度の結果がまとまった時点で、研究者の解釈の妥当性に関して、対象者の皆さまにご確認いただく機会を設定します。

・2011年8月～2015年6月 結果の公表

研究の成果は、論文、報告書、ウェブサイトで公表します。公表の際にデータから個人が特定されないよう配慮します。

2.研究協力の任意性と撤回の自由

この研究にご協力いただくかどうかは、研究参加者の皆様の自由意思に委ねられています。もし同意を撤回される場合は、同意撤回書に署名し、宮本にご提出ください。なお、研究にご協力いただけない場合にも、皆様の不利益につながることはありません。研究期間中にご本人の申し出があれば、いつでもデータや調べた結果を廃棄します。

3.個人情報の保護

この研究に関わる成果は、他の関係する方々に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。あなたに関するデータは、分析する前に氏名・住所などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名などに戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

4.研究結果の公表

研究の成果は、あなたの氏名など個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌及びウェブ上等で公表します。

5.研究参加者にもたらされる利益及び不利益

この研究が、あなたに直ちに有益な情報をもたらす可能性は高いとはいえません。しかし、この研究の成果は、今後のピアサポート研究の発展に寄与することが期待されます。したがって、将来、援助者－被援助者関係における質の変化が利益をもたらす可能性があると考えられます。

6.研究終了後のデータ等の取扱方針

あなたからいただいたデータ等は、この研究のためにのみ使用します。しかし、もしあなたが同意してくだされば、将来の研究のための貴重な資源として、研究終了後も引き続き保管します。符号により誰のデータ等かが分からないようにした上で、使い切られるまで保管します。なお、将来、当該データ等を新たな研究に用いる場合は、改めて東京大学倫理委員会の承認を受けた上で用います。

7.あなたの費用負担

今回の研究に必要な費用について、あなたに負担を求めることはありません。なお、あなたへの謝金は、個別インタビューにおいては1回あたり3000円、グループインタビューでは2000円となります。

8.その他

この研究は、東京大学倫理委員会の承認を受けて実施するものです。なお、この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野宮本有紀の研究費、文部科学省科学研究費補助金若手研究(A)、および第41回(平成22年度)三菱財団社会福祉事業・研究助成から支出されています。

ご意見、ご質問などがございましたら、お気軽に下記までお寄せください。

照会先

研究責任者
宮本有紀 *****@*****.ac.jp
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学大学院医学系研究科 精神看護学分野
Tel: 03-****-**** Fax: 03-****-****

同意書

東京大学医学系研究科長・医学部長 殿

IPS (Intentional Peer Support) に関する質的研究 —サービス利用者と援助者の新たな関係—

私は、上記研究への参加にあたり、説明文書の記載事項について、担当者 宮本有紀 から説明を受け、これを十分理解しましたので本研究の研究参加者となることに同意いたします。

以下の項目について、説明を受け理解しました。

- この研究の概要について
- 研究協力の任意性と撤回の自由について
- 個人情報の保護について
- 研究結果の公表について
- 研究参加者にもたらされる利益及び不利益について
- 研究終了後のデータ等の取扱方針について
- あなたの費用負担について
- インタビューを録音されることについて
- その他について

また、私に関わるデータ等は、将来、新たに計画・実施される研究のために、長期間の保存と研究への使用に同意いたします。

はい

(本研究終了後も保存)

いいえ

(本研究終了時に廃棄)

平成 年 月 日

氏名(研究参加者本人) _____ 自署

同意撤回書

東京大学医学系研究科長・医学部長 殿

IPS (Intentional Peer Support) に関する質的研究
—サービス利用者と援助者の新たな関係—

私は、上記研究への参加にあたり、説明文書の記載事項について説明を受け同意しましたが、同意の是非について再度検討した結果、同意を撤回いたします。

平成 年 月 日

氏名(研究参加者本人) _____ 自署